



学校への御相談をお待ちしております

校長 米原 大司

本日は、せっかく学校にお出でいただきましたのに、運動会が開会式と金管バンドの演奏だけの披露となってしまい、大変申し訳なく思います。数日前から天気予報を見ながら、また近隣校との連絡を取りながらの判断でしたが、結果として皆様の御期待に沿うことができませんでした。校長として子どもたちや保護者の皆様のために適切な判断ができるよう、気を引き締めてまいります。

さて、さいたま市では、6月と11月がいじめ防止強化月間となっております。どちらの月も学期半ばの学校生活に慣れた時期で、いじめが起こりやすい時期のようです。いじめは、私たち教職員と学校で生活する子どもたちがいじめ防止についての意識を高めないと、いつの間にか起こってしまいます。子どもたちには「自分たちのクラスでいじめは許さないという気持ちをもつ」ことや「いじめに気付いた時にはそれはいじめだと言えるようにしよう」ということを指導しています。しかし、いじめは大人の目の無いところで起こりがちで、教職員が気付かないということがあります。御家庭でお子様との会話や生活の様子からいじめを受けているのではないかと御心配な点がありましたら、担任に御相談ください。御相談がありましたら、学校としてできる限り迅速に事実確認をし、指導の方針について保護者の方と確認をしながら進めてまいります。

いじめと直接関係はありませんが、学校は様々な関係機関と連携しています。先日、浦和地区学校・警察連絡協議会（通称学警連）に出席してきました。学警連は、浦和地区の国・公・私立の小・中・高等学校の校長とさいたま市教育委員会、埼玉県浦和警察署、さいたま市南部児童相談所の代表者が集い、学校が警察や児童相談所からの指導を受けたり、互いの学校間の情報交換をしたりしています。その中の話題として、最近はLINEや生成AIによるトラブルが増えているとのことです。子どもたちは、ICTに関わる技術をどんどん習得していくので、我々大人が追い付けないことも増えてきます。「これくらい大丈夫だろう」と思ったことが、思わぬトラブルを生むことも多いようです。ちょっとしたことでも気にかかることがありましたら、遠慮なさらず御相談ください。

先日、本校の卒業生が通う白幡中学校の学校運営協議会に参加してきました。その会終了後に、授業の様子を参観してきました。1年生から3年生まで、全てのクラスで授業を真剣に受けるまなざしと、生き生きと学習活動をする生徒の姿を見て、卒業生を送り出す側として、大変安心いたしました。本校の子どもたちも、明るく生き生きと学校生活を送っています。これからも本校の子どもたちと保護者の皆様の幸せのため、全力で取り組んでまいります。